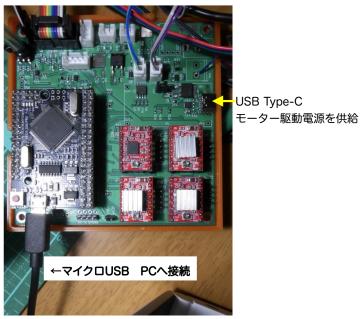
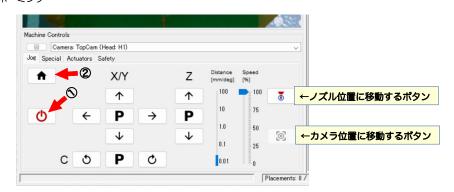
# 使い方

## 電源を入れる

USB Type-C(PD)の電源を入れます。 Arduino側のUSB(マイクロB)をPCに接続します。

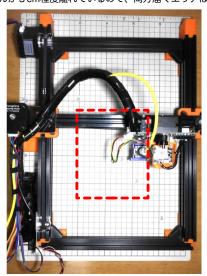


OpenPnPを起動する ①電源ボタンをクリック ②ホーミング



### 基板を固定する

。 部品を乗せる場所がカメラとノズルが両方届く範囲にあること カメラとノズルが3cm程度離れているので、両方届くエリアは下の点線内程度です。



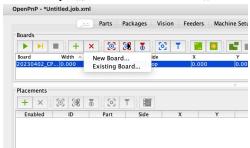
#### 実装する部品フィーダー (トレー) を並べる

カメラとノズルが届く範囲内に並べること

縦横は問わない

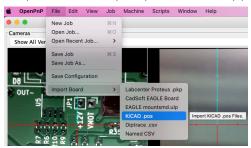
同じトレーで同じ定数の部品を複数載せる場合に最初から最後までカメラとノズルが届く範囲にあること 「最後の一個が届かなかった!」ということにならないように

### Boards-[+]-[NEW Board...]を選択してボード名のファイルを作る



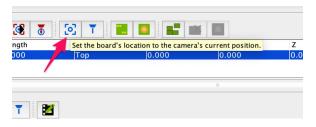
#### KiCADで作ったPosファイルを読み込む

File-Import Board-KiCAD .pos でposファイル「\*\*\*-top.pos」を読み込む

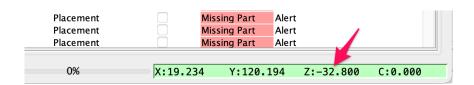


#### 基板のXYZ基準を設定する

- 〜〜〜〜〜 ・ Jogでカメラ位置を「基板の基準点」(左下とか)まで持っていく ・[十字のアイコン]
- CI TWV コンリ Set the board's location to the camera's current position. をクリック X,Y座標が入る



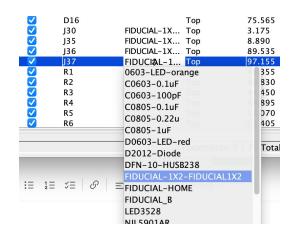
基板のZ軸の高さを設定する。ノズルが基板の上にちょうど接触するようにJOGで移動し、 その位置のZの値をBoardのZとして入力する



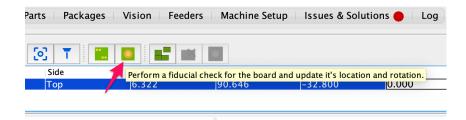
# Fiducial (位置合わせするマーク) を登録する どれがFiducialなのかを指定する

_		1.75						
	D16	Тор	75.565	73.660	-90.000	Placement	Missing Part	Αle
<b>~</b>	J30	Тор	3.175	9.525	0.000	Fiducial	Missing Part	Ale
	J35	Тор	8.890	97.155	0.000	Fiducial	Missing Part	Ale
<b>√</b>	J36	Тор	89.535	95.885	0.000	✓ Placement	Missing Part	Ale
✓	J37	Тор	97.155	25.400	0.000	Fiducial	Missing Part	Ale
	R1	Тор	46.355	15.240	0.000	riacement	Missing Part	Αlε
	R2	Тор	40.830	71.755	0.000	Placement	Missing Part	Ale
	R3	Ton	44.450	71.120	-90.000	Placement	Missing Part	Ale

#### Fiducialの部品を選択する

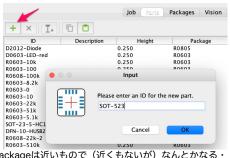


#### 基板にあるFiducialをTopカメラで実際に検出させて自動調整する



#### 部品を新しく登録する

Parts-[+] で部品の名前を登録する



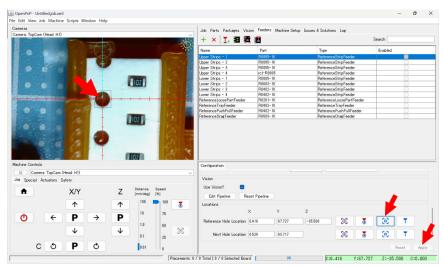
С

使う部品の外形と定数を指定する。HeightやPackageは近いもので(近くもないが)なんとかなる・・SOT-523ってインチ表記の0402の抵抗に近いな、高さは0.5mmくらいかな、という感じ↓

#### フィーダーを登録する

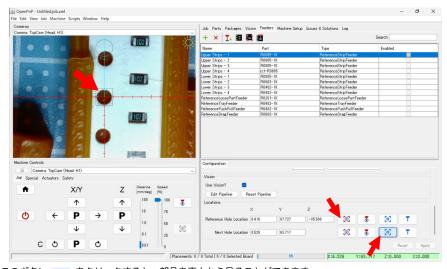
部品の最初の位置と次の位置(=進む方向と部品の間隔)を登録する
①Jogで最初の部品の穴に合わせます。

② をクリックし、 ③「Apply」をクリックすると最初の穴位置が記憶されます。

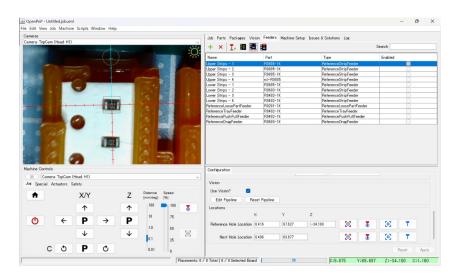


Jogで2個目の部品の穴に合わせます。
でクリックするとその位置XYを記憶するので「Apply」をクリックします。

最初の穴位置を「確認」したいときは (で) をクリックすればOK。 その場所にカメラが移動して確認できます。機械なので少しズレることがあります。 何度もやり直しても良い。



このボタン をクリックすると、部品を真上から見ることができます。



実装開始